家庭数配付

№565　7月号　令和8年7月1日

西東京市立東伏見小学校
校 長　中嶋 太

かけはし

学校ホームページ　更新中

学校HP

「信じる力」のつながり

校長　中嶋　太

今から 70 年前の昭和 31 年 7 月 1 日に東伏見小学校は誕生しました。当時の校名は保谷町立東伏見小学校で、保谷町で 4 番目にできた小学校です。保谷小学校、保谷第二小学校から分離、独立して開校されました。本校の開校記念日は、7 月 1 日です。その記念すべき日に、70 周年記念集会を開催しました。代表委員会の児童が中心となり、学校の 70 歳の記念すべき年をお祝いするイベントを企画、準備してくれました。子どもたちが考えたクイズの問題や「信じる力」の合唱などと、この学校便り校長挨拶の内容が重なり、ねたばれになっては申し訳ありませんので、学校便りの発行を 1 日遅らせ、7 月 1 日配付とさせていただきました。

今年の 70 周年記念事業に向けて教職員の間で準備を開始し出したのは、1 年前の 4 ・ 5 月です。50 周年、60 周年の記念事業同様、子どもたちからアイデアを募集し、記念マスコットを作成したいという案が出ました。また、「信じる力」の 3 番を作って、みんなで歌いたいという案も出ました。「信じる力」は、50 周年記念事業で誕生した東伏見小オリジナルの曲です。「くじら山」や「メタセコイヤ」など、東伏見小ならではの歌詞が登場します。プラス志向の歌詞とリズムで、「ふしみっ子」が、何よりも熱く心を一つに歌い上げる曲で、みんな大好きです。しかし、3 番を作るためには、曲を作った方に許可を得なければなりません。「信じる力」の歌詞を見ると、「作曲：野口義修」「作詞：東伏見小学校の子どもたち、ご家族、教職員、野口義修」と記されています。「野口義修」でインターネット検索すると、音楽関係者と思われる方にヒットしました。幸いにも、メールアドレスを見付けアクセスすると、ズバリ的中です。野口さんとメールのやりとりをさせていただくと、3 番作成の許可を得るだけでなく、その曲づくりに快くもご協力いただけることになったのです。それだけでなく、20 年前の貴重なお話をお聞きすることもできました。その当時は、野口さんは、東伏見小学校の保護者で、娘さんが 5 年生に在学中だったとか･･･。そして、「『わたしはなりたい、イラストレーター』という歌詞は、実は娘のことなんです。本当にイラストレーターになって頑張っています。」という、うれしい話まで聞くことができました。併行して、代表委員の子どもたちからも、3 番作成に向けた依頼となる動画メッセージを作り、野口さんに見ていただきました。そして、3 番のテーマを「協力」と決め、全校に歌詞を募集しました。児童・教職員から 150 件以上の応募があり、そのまま野口さんに転送いたしました。完成した曲が、ホームページにアップした『信じる力（開校 70 周年 Ver.)』です。さすが、野口さんはプロの音楽家です。想像していた以上の素晴らしい歌詞をつくってくださいました。今日の 70 周年記念集会では、野口さんからいただいた動画を子どもたちと一緒に視聴しました。野口さんからは、「信じる力は本当なのです。」や「力を 3 つ＋（プラス）すれば、『協力』ができる。」という力強いメッセージをいただきました。本日の「信じる力」の歌声と、感謝の気持ちを改めて野口さんにお伝えしたいと考えています。

東伏見小学校が、過去から未来に向けて、様々な方に支えられ乗り越えてきたことが感じられるすてきな思い出となりました。野口さんとオンラインで会話をしていたとき、「20 年も歌い継がれてきたなんて驚きです。」とお話しされていました。曲がすてきだから、歌いたくなるのだと思います。80 年も、90 年も、100 年までも、歌い継いでいきたいです。